

- 配布物品、ゼッケン(胸)、スイムキャップ、バイクシール(フレーム貼付け)です。
- 用具の検査** 事前検査は行いません、各自にて十分に点検、整備、検査し、JTU規則適合品を使用してください。
- マーキング** ボディナンバリングは、受付の混雑を防ぐため、事前に各自で行ってください。当日、受付場所でも行えます。
- 両腕上腕に縦書き。
- レースNo.(大)** 胸の位置に安全ピン又はベルトにて取り付け。腰より著しく下ならず、見苦しく無い位置。
- バイク時=背面、ラン時=前面。固定の場合は前面に取り付け。スイム時は不要ですが、つけても可。
- バイクシール** バイクのフレーム、サドル下、右側面に貼り付けトランジションへ。バイクピックアップ時、No.確認します。
- 記録** 計測は、電子計測、計測バンド(計測チップ、計測タグ)を、スイムスタート10分前より、スイムスタート付近にてお渡しします、レースNo.を確認し、どちらかの足首にしっかりと取り付けてください、(マジックテープ+ゴムバンド)途中で落としたり、違うものをつけていると正確な記録が測定できなく走差されても”棄権”となります。ご注意ください。
- 記録計測器具の紛失、未返却者には実費請求させていただきます。
- レーススタート前、レース中は常に、取り付け状態を確認してください。
- 各競技のタイムは、計測地点でのタイムの為、実際とは多少異なります。ご了承ください。
- バイクにはサイクルメータの装着を推奨します。スイム、ランともに周回数の確認を行ってください。
- リタイア** 体調の急変等、通常と違う状況が発生した時は、すぐにレースを止めスタッフや選手に連絡ください。
- 大会会場は広範囲に及び、主催者側だけの安全管理では予測のできない状況もあります。
- 自身の体調は自身で管理し、参加者同士のセルフレスキューも必要です。
- 調子の悪い選手には一声かけ、出場選手全員が事故なく終われるようご協力ください。
- 又、様子のおかしい選手を見かけました場合は、お近くのスタッフまでご連絡ください。
- リタイアする場合は、必ず計測バンドを大会本部に直接、返却ください。
- リタイアする場合でもコースの内外ともに逆走は禁止です、コース外の芝生内を移動してください。
- 競技を続行している選手に支障の無いように、ご注意ください。
- (周回コースの場合は、本部に戻るのが逆走となる場合は、反対側に横断してください。)
- スイム、バイク、ランそれぞれのパートにて、大会スタッフの判断により、棄権の勧告、指示をだす場合があります。
- 大会運営上や選手の体調等による、ドクターや審判員の判断により、棄権とする場合があります。
- 棄権後も、レースNo.ゼッケン、バイクシールは必要です。破棄、紛失しないでください。
- 勇気あるリタイアが、次のトライアスロン大会、また、他への競技参加へのすたーととなります。
- 緊急時の心算** 競技を停止し、頭上にて大きく手を振る。大きな声で要請する。
- スイム** 近くのスタッフや、選手に声をかける。バイク自走困難な場合は、状況を見て、搬送車を用意します。
- バイク:ラン** 体調の急変時にはスタッフや周囲の選手に連絡ください。
- 救護** 医療スタッフは、本部テントに配置され、必要に応じ対応できるよう待機しています。
- 会場には救護車両が用意されています。セルフレスキューが困難な場合等、周囲のスタッフまたは選手に依頼ください。
- 重大な事故に関しましては救急搬送いたします、健康保険証の写しや、確実な緊急連絡先が必要です。
- 緊急車両、大会車両通行の際は、左側に一列となり徐行又は停止してください。
- 緊急時は選手間の追い抜き禁止。
- コース** 周回数、コースミスは自己責任です。必ずスタート前にコースの確認をしてください。
- コースから逸脱した場合は、逸脱した場所より復帰ください。できれば、近くのスタッフの確認を申請願います。
- 周回数の審査に関しては、周回計測、タイム、前後の競技者、内容、スタッフの意見、バイクにおいては距離計、等より総合的に判断します。
- スタッフが周回数やコースを競技中に教えることはありません。周回が足りない場合は棄権となります。
- コースの一部は、選手間の交差、一般者の横断など接触の危険のある箇所がいくつかあります。
- コースは一人での閉鎖されたコースではありません。前方や路面状況に注意して安全に走行してください。
- 舗装面上に吹き上がった砂、ランコース、バイクコースにおける一般者のコース横断など十分注意し不測の事態に備えてください。自分は良くても、前方者、横のせんしゅが倒れる場合もあります。
- 他の選手の急激な進路変更や減速に対応できるようにレース中注意を払ってください。
- コース設定が河川敷のため、特性上みずはげが悪く水たまりができる箇所も何か所かあります。
- ヘッドセット等の使用は禁止します。他からの音声が確認できないため、規則として禁止。
- スイム** スタート位置、コース、周回数は、カテゴリーにより異なります、スタート10分前に集合ください。
- 中学、高校生、エイジは、本部近くの棧橋から、下流に向かって泳ぎます。右回りの周回コース。水上からのスタートです。
- 小学生低学年は、スタート①高学年は②から、下流の仮設コンテナ付近からのスタート。上流に向かって泳ぎ、棧橋から上がりバイクに進みます。
- コースの岸川は、浅いコンクリートとなっております。岸川は危険ですので、近寄らないように、飛び込みは禁止です。
- スイムチェック後は、スイムエリアから出れません、スタート準備後に、計測バンドを受け取ってください。
- コースロープ等に伝い進行するのは禁止です。小学生は、フロート板の使用を認めます。(個人で持ってくる)
- 救助の場合は片手を頭上で大きく振り、大きな声で救助を求めてください。
- スイムスキップ制度を適用します。:スイム途中、スタート前申し出て下さい。バイク、ランの競技を行えます。
- スイムスキップ希望者は、スタッフに申し出て下さい。コースの状況により、区切ってバイクスタートおこないます。
- スイムスキップは、スイム計測地点手前からバイクスタートします。係員の指示に従ってください。

- バイク** いずれの категорияもドラフティング禁止レースです。左側通行、右から追い越しです。1周5km(小学生低学年は2km)のコースを周回します。川側を、上流(北)へ堤防側に横断して、戻ってくる、左回りの周回コースです。周回コースに入るまでに、約300m走行します。バイクセットは開会式前に行ってください。式典後レースがスタートしますと、十分な時間ありません。トランジションへは、選手以外は入れません。小学生で自分でバイクセットできない方は、近くのスタッフに相談ください。開会式前(8:00まで)、対応します。トランジションエリアにはレースNo.バイクシールをつけてヘルメットをかぶり、バイクを押して指定の場所から入場。また、クローズ後は選手も入れません。レースに使わないものは、持ち込めません。おけません。乗車禁止。片足ペダル走行も禁止。バイクボトルに、ペットボトル装着は脱落等及び、操作が危険の為、禁止といたします。バイクセットは、ラックのレースNo.側を前にして、サドル掛けとします。荷物は、ハンドル側に置いてください。選手はレースNo.表示側を走ってください。他者の場所にバイクをかけると、ペナルティの対象となります。バイクや用具の検定は設けませんが、安全に競技を完走でき、他者に迷惑をかけない仕様であること。一般に広く認められていること。ご不明な方は、事前にお問い合わせください。レース中、バイクに触る前に、ヘルメットをかぶりストラップをしめる。バイクをラックにかけてから、ストラップを外す。乗車ラインを越えてから、片足が完全に着いた後に、乗車。降車ラインの手前で片足が完全についていること。第2トランジションは、バーにハンドル側2点またはサドル掛け。向きは問いません。荷物はまとめる。各カテゴリー(低学年除く)のコースは同一ですが、周回数異なります。サイクルメーターの設置を推奨します。左側走行。右から追い抜き。ドラフトゾーンは、先行のバイク前輪の先端から後方10m。ゾーンに入れるのは20秒以内。追い抜かれた選手は、後退する。追い抜いた選手は、かぶせない。すぐに左側に入らないように。バイクでの事故が多く発生しております。カーブや進路変更の際、他の選手と接触しないよう、注意してください。ふらつきや急な進路変更をしないでください。モーターバイク、車両がコース内に入ります。トランジションにおきまして、バイクや荷物の移動、設置方法の変更をお願いする場合があります。(ルールや運営上不具合の場合)場内放送にて連絡いたしますが、係員にて、荷物やバイク設置等の移動を行う場合もありますので、ご了承ください。会場内、トランジション内での荷物、用具の盗難、紛失が他会場で数多く発生しています。貴重品の管理には注意してください。バイクピックアップは係員の指示に従ってください。場内放送にて案内いたします。ピックアップの際は必ずご本人がレースNo.を持って(付けて)引き取りに来てください。ばいくに貼ってあるレースNo.と本人のレースNo.を照合させていただきます。悪質な盗難、取り違いの事故が各地で発生しております。ご了解願います。本来は、全競技者がフィニッシュ後にバイクの引き取りが始まりますが、遠方からのご来場者もおられるため、競技本部の配慮にて、レースの途中での引き取りを行います。ピックアップの際、まだレース中の選手がいます。コースを開け、ご声援をお願いします。選手が通行する際は、ホイッスルにて、呼びかけますので、その場で停止願います。ピックアップの開始時間の後、残っているものについては係員が移動させる場合があります。
- ラン** ランスタート地点から下流に向かいそれぞれの折り返し地点にて折り返します。折り返しポイントは、3か所あり、係員は個別に誘導しません。レースが始まる前に、自分の折り返し地点を実際に確認ください。左側通行。右側から追い越し。追い抜きは一声かけて。エイドにて給水を受ける場合は、減速して。受け取る意志表示をお願いします。ごみは散乱しないようご協力ください。
- フィニッシュ** フィニッシュは、レースナンバー、身なりを整え、サングラスは外して。同伴FINISHは、他の選手にご配慮願います。許可を含め、スタッフの指示に従ってください。多人数での同伴は控えてください。フィニッシュ後もレースNo.ゼッケンは必要です。バイクピックアップ他。破棄、紛失しないでください。
- ペナルティ** 競技規則、大会規則に違反、及び危険が予測される場合はスタッフより声かけ、注意、警告があります。安全にレースが行えるよう指示に従ってください。競技規則に違反した場合には、審判員より、ストップ&ゴー、タイムの加算、注意、警告が与えられます。悪質者は、失格となります。また、失格のコールに、注意、警告は必要とされません。審判員の判断、他の競技者への意見、競技会場への意見は、審判長、審議委員会まで(本部に設置)詳しくは、JTU競技規則を参照ください。会場、その付近では、大会期間中を問わず、公衆道徳、各種法令、法律、等に違反する行為や大会運営を妨げる行為等、反社会的活動、団体、また企業個人を問わず営利を伴う、または目的とする行為は禁止です。速やかに退場していただきます。また、関係機関への情報提供をいたします。選手へは、出場を拒否します。
- お帰り** レース後は体力や、疲労の蓄積があると思われます。お帰りの際は、交通事故等十分にご注意願います。休憩は早めに、細かく取るようご配慮願います。参加者全員が、楽しくレースができますようスタッフ一同願っております。コンディションにご注意願います、お越しいただきますよう、お待ちしております。無理な参加、交通事故等には、くれぐれもご注意願います。

ご不明な点は、事前にお問い合わせ願います。

事務局 〒503-0627

岐阜県海津市海津町七右衛門新田1731

木曾三川ジュニアトライアスロン大会実行委員会

委員長 若山 春夫

TEL 0584-54-7447

FAX 0584-54-5506

<http://gifu-triathlon.jp/>

e-mail info@gifu-triathlon.jp